

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下松市立公集小学校

学習環境の整備

児童の思いや願いを生かした学習活動を構成し、主体的に学ぶことのできる環境を整える。

合科的な指導・話し合い活動

意欲の喚起

【生活科】

- ・シャボン玉
- ・水遊び
- ・色水遊び
- ・砂遊び
- ・公園遊び
- ・秋見つけ など



五感を通して直接体験したことを、作文に書きました。文字を書くことへの抵抗感が少なくなりました。

考えた理由を出しながら、自分たちで話し合い、よりよい意見に決めます。

話し合い活動の充実



話し合いの最後に、自他の良かった点を振り返り認め合います。



成果

少人数で学習することで、思いを形にすることが難しい児童にも、個別に丁寧に寄り添い、一緒に考えることができた。

生活科と国語科などを合科的に扱うことで、五感を通した楽しい体験について表現への欲求を高めてから作文することができた。自分でできたという達成感や友達と思いを交流する楽しさを味わうことができた。少数意見も大事にされる話し合い活動を通して、伝え合うことの楽しさを味わい、認め合える関係づくりができた。

安心して学ぶことのできる環境(様々なかかわり)

異学年交流

お兄さん、お姉さんは優しいな。なんでも上手ですごいな。



担任以外の教員



くわしく教えてもらえてうれしい。いろいろな先生と勉強できて楽しい。

家庭や地域

自分も家族の役に立ちたい。ほめてもらえてうれしい。



成果

小学校生活の手本を見せたり、見通しをもたせたりするとともに、好きな人や物、場所を整え、安心して学ぶ環境をつくることができた。

上級生にしてもらったことをもとに、自分たちで企画、準備、進行をして、お楽しみ会や園児との交流を主体的に行うことができた。

また、様々な人に支えられながら生活していることに気付いたり、役に立つ経験や認められる体験を通して、自己有用感をもったりすることができた。